

# 平成 28 年度 どんぐり山事業報告書

## 1. 総括

どんぐり山は、何らかの援助を必要とする高齢者を対象に、高齢者福祉の増進を目的として、三鷹市が開設した施設である。社会福祉法人楽山会は平成 8 年 4 月 1 日の施設開設当初から三鷹市から委託を受けて管理運営を行ってきた。

当施設は開設後 21 年間を経過したが、この間平成 12 年 4 月 1 日より介護保険法が施行され、措置から契約への大きな改革が行われた。平成 18 年度には介護保険制度が抜本的に改正され、平成 19 年には地域包括支援センターの運営を受託している。

また、特別養護老人ホーム及び高齢者センターにおいては、指定管理者制度が導入され、平成 18 年度からの 3 年間、平成 21 年度から平成 25 年度まで 5 年間の指定管理期間を経て、当年度は 3 回目の指定管理期間の 3 年度目の管理運営を行った。

当年度は、職員の人材育成や人事評価などを更に成熟させることで、職員一人ひとりの意識向上を図り、質の高いサービスの実現を図ってきた年度であった。

重点目標としての、主な取り組みとして、

- (1) 職員一人ひとりのスキルアップ
- (2) 認知症ケアの充実
- (3) 地域に開かれた施設としての取り組み
- (4) 地域包括ケアシステム構築への取り組み
- (5) 健全な経営感覚へのさらなる強化

以上の 5 点を掲げていたが、これらに対する達成状況は、以下の通りであった。

### (1) 職員一人ひとりのスキルアップ

職員一人ひとりの質の向上は、利用者への接遇向上のためにはが欠かせないところである。職員の資質向上のため取り組んだのが、委員会活動、研修事業及び人事評価である。取組の内容は以下のとおりである。

#### ①委員会活動

委員会は、どんぐり山が抱える優先度が高い課題について、職員が自主的にその解決策を図ることを目的として活動している。また各委員会の運営は現場のリーダーである主任職を中心に行っており、主任職のリーダーとしての意識改革にもつなげている。

各委員会ともに概ね月 1 回程度の会議を開催し、業務上の工夫や効率化をすすめるとともに、委員会主催の研修などを実施した。年度末には成果発表会を実施し、1 年間の委員会活動の成果と課題を共有することで、次年度の活動に発展的につなげる工夫をしたところである。 ※参考資料 2)「委員会一覧」参照

## ②研修事業

研修については、職員のケアの知識や技術のみならず、事業運営に必要な諸制度や国の動向等、幅広い研修を職種にこだわらず受講し、全体の質の向上を図ってきた。また内部研修についても各委員会主催の研修、制度改正に伴うもの等、その時点で必要な研修を柔軟に取り入れてきた。 ※参考資料 3)「研修実績」参照

## ③人事評価

人事評価の実施にあたっては、職員一人ひとりの目標を設定し、その達成をサポートするという視点を打ち出した。主任職以上には評価補助シートにより自らが設定する目標と法人から与えられる業績目標を達成できたかどうか、一般職員は自らの課題と目標を設定し、それらに基づいてOJTを実施してきた。

## (2) 認知症ケアの充実

利用者一人ひとりの尊厳を守り、その方らしい自立した生活をサポートするという立場から、認知症ケアの充実に取り組んだ。指導的な立場にある職員をリーダーとし、認知症の基礎的な理解、対応の方法等、二度の研修により理論と実践を学ぶ機会を作り、その後のOJTにつなげた。

## (3) 地域に開かれた施設としての取り組み

広報委員会を中心に、地域の方々にどんぐり山をもっと知ってもらい、足を運んでいただくことを目標に取り組んだ。野菜の販売、まぐろ解体ショー&ランチ会の開催、職員の顔写真掲載など具体的な成果が上がったところである。またホームページのタイムリーな更新により、情報を迅速に発信することができた。

併せて地域ケアネットの運営についても地域包括支援センターを中心に積極的に取り組んだ。ケアネット主催の様々な事業や、地域からの様々な講話や講演の依頼等を通じて、施設のPRの役割も果たしてきたところである。

## (4) 地域包括ケアシステム構築への取り組み

今年度は、三鷹市において介護予防・日常生活支援総合事業を本格的にスタートさせた年度であったが、当施設でもこのことに対応してきたところである。通所事業では第一号通所事業として国基準の通所型サービスを併設し、軽度者の介護予防に取り組んできた。また、生活支援体制整備事業では、生活支援コーディネーターを配置し、買い物支援や居場所づくりなどのプロジェクトを地域住民との協働により進めてきたところである。

(5) 健全な経営感覚へのさらなる強化

平成 27 年 4 月の介護保険制度改正と同時に実施された介護報酬改定により、各事業共に非常に厳しい財政状況となった。特別養護老人ホーム・高齢者センターの利用率向上を達成することができたが、三鷹市からの指定管理料の減額も続いており、施設の管理運営についてはより一層厳しい状況であった。引き続き明確なコスト意識を持って経営にあたる一方で、導入 2 年度目となった職員の人事評価制度による処遇の決定や、処遇改善加算を算定し介護職員の給与増を図るなど工夫を重ねた年度であった。詳細については、決算報告書を参照。

参考資料 1) 職員定数 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

|              | 特別養護<br>老人ホーム | 高齢者<br>センター | 居宅介護<br>支援事業所 | 地域包括<br>支援センター |
|--------------|---------------|-------------|---------------|----------------|
| 施設長          | 1             |             |               |                |
| 事務長          | 1             |             |               |                |
| 介護職員         | 31            | 5           |               |                |
| 看護師          | 4             | 1           |               |                |
| 生活相談員        | 2             | 1           |               |                |
| 主任介護支援専門員    |               |             |               | 1              |
| 介護支援専門員      | 1             |             | 1             | 1              |
| 介護支援専門員 (兼務) | 5             |             |               |                |
| 社会福祉士        |               |             |               | 2              |
| 保健師          |               |             |               | 1              |
| 管理栄養士        | 1             |             |               |                |
| 事務職員         | 4             |             |               |                |
| 嘱託医          | 2             |             |               |                |
| 機能訓練指導員      | 1             | 3           |               |                |

参考資料 2) 「委員会一覧」

| 委員会名称        | 主な活動   |
|--------------|--|
| リスクマネジメント委員会 | ヒヤリハット、事故報告書の分析及び事故予防に関する提案等。                        |
| 感染症対策委員会     | インフルエンザ、ノロウイルスに代表される感染症について、情報収集、予防対策、発症時の対応等の中心を担う。 |
| 介護技術向上委員会    | 入所者ごとの心身状況に合わせた介護方法の研究と提案等。                          |

|         |  |
|---------|--|
| 褥瘡対策委員会 | 褥瘡の予防、早期発見、早期治療に向けた取り組みを検討実施し、職員の専門性向上を図る。   |
| 広報委員会   | ホームページや各種イベントの企画等の広報活動により、地域に開かれた施設づくりを推進する。 |

参考資料3)「研修実績」

①外部研修

■特別養護老人ホーム、高齢者センター（介護職員、看護師、相談員）

| 日にち        | 研修内容                                   | 主催            |
|------------|--|---------------|
| 28. 4. 19  | 東京都認定調査員新規研修                           | 東京都福祉保健局      |
| 28. 7. 14  | 特養ホームフォーライフ桃郷見学（看取りケアの実践について）          | 先方の施設に依頼      |
| 28. 7. 15  | 認知症の方への食支援                             | 東京都社会福祉協議会    |
| 28. 8. 2   | いま知りたい！現場で役立つ看取りケア～施設看護師に求められる看取りの在り方～ | 東京都社会福祉協議会    |
| 28. 10. 13 | ショートステイ情報交換会                           | 東京都社会福祉協議会    |
| 28. 11. 1  | 施設・病院における転倒・転落事故対策                     | 三鷹市医師会、杏林大学病院 |
| 28. 11. 1  | いま知りたい！現場で役立つ看取りケア～多職種との連携について～        | 東京都社会福祉協議会    |
| 29. 2. 6   | いま知りたい！現場で役立つ看取りケア～施設看護師の看取りのリスク管理～    | 東京都社会福祉協議会    |

■居宅介護支援事業所（介護支援専門員）

| 日にち       | 研修内容                                 | 主催              |
|-----------|--------------------------------------|-----------------|
| 28. 6. 2  | ケアプラン研修                              | 三鷹市介護保険事業者連絡協議会 |
| 28. 7. 20 | 知っておきたい社会資源研修シリーズ～地域資源を知り、その活用を考えよう～ | 三鷹市介護保険事業者連絡協議会 |
| 29. 2. 23 | 高齢者に多い整形外科が扱う疾患の治療と予防について            | 三鷹市介護保険事業者連絡協議会 |
| 29. 3. 23 | 暮らしの場における看取りのための多職種向け研修（基礎編）         | 東京都福祉保健局        |

■地域包括支援センター（相談員）

| 日にち                      | 研修内容   | 主催                              |
|--------------------------|--|---------------------------------|
| 28. 5. 10                | 配偶者暴力（DV）被害者支援のための基礎知識                               | 東京都生活文化局東京ウィメンズプラザ              |
| 28. 6. 2                 | ケアプラン研修  | 三鷹市介護保険事業者連絡協議会                 |
| 28. 6. 24                | 精神保健福祉基礎研修Ⅱ  | 東京都多摩総合精神保健福祉センター               |
| 28. 6. 2<br>28. 6. 3     | 地域コーディネータカ、向上セミナー                                    | 東京都福祉保健局、NPO コミュニティビジネスサポートセンター |
| 28. 6. 27<br>28. 6. 28   | 東京都地域包括支援センター初任者研修                                   | 東京都福祉保健局、東京都福祉保健財団              |
| 28. 10. 20<br>28. 10. 21 | 地域コーディネータカ！向上セミナー「場づくり」基礎編                           | 東京都福祉保健局、株式会社エンパブリック            |
| 28. 11. 19               | 平成 28 年度東京ホームタウンプロジェクト「地域団体・中間支援組織・プロボノワーカーによる中間交流会」 | NPO法人サービスグラント                   |
| 29. 1. 12<br>29. 1. 13   | 東京都地域包括支援センター現任者研修                                   | 東京都福祉保健局、東京都福祉保健財団              |
| 29. 2. 8                 | 平成 28 年度区市町村職員等高齢者権利擁護研修「養護者による高齢者虐待対応研修（応用研修B）」     | 東京都福祉保健財団                       |
| 29. 2. 23                | 高齢者に多い整形外科が扱う疾患の治療と予防について                            | 三鷹市介護保険事業者連絡協議会                 |
| 29. 3. 23                | 暮らしの場における看取りのための多職種向け研修（基礎編）                         | 東京都福祉保健局                        |

■事務室（施設長、事務職員、管理栄養士）

| 日にち       | 研修内容                      | 主催               |
|-----------|---------------------------|------------------|
| 28. 5. 26 | 診療報酬の改定と栄養士指導の拡充          | 多摩府中保健所          |
| 28. 6. 17 | 日本食品標準成分表改定と給食運営上の留意点     | 多摩府中保健所          |
| 28. 7. 13 | 熊本地震から学ぶBCPセミナー           | あいおいニッセイ同和損保株式会社 |
| 28. 11. 8 | 介護食品の規格決定と使い方             | 多摩府中保健所          |
| 28. 12. 7 | 災害に強い給食施設づくり～給食施設におけるBCP～ | 多摩府中保健所          |

|           |                     |            |
|-----------|---------------------|------------|
| 29. 1. 17 | 食品衛生実務講習会           | 多摩府中保健所    |
| 29. 1. 31 | 施設長のための社会福祉法人会計入門講座 | 東京都社会福祉協議会 |
| 29. 2. 22 | 食品衛生実務講習会           | 多摩府中保健所    |
| 29. 2. 28 | レジオネラ対策講習会          | 多摩府中保健所    |

②内部研修

| 日にち                       | 研修内容                     | 講師                         | 人数  |
|---------------------------|--------------------------|----------------------------|-----|
| 28. 4. 22                 | 施設における看取りケアの実践           | 弘済園石川副施設長                  | 31名 |
| 28. 5. 31                 | 認知症ケアの新たなる一歩             | 丸山介護主任                     | 34名 |
| 28. 9. 2                  | 認知症の人の声や思いを知る            | 株式会社P A O代表<br>北田信一氏       | 22名 |
| 28. 10. 3～<br>28. 11. 3   | 認定特定行為（喀痰吸引）資格者研修        | 医務室                        | 22名 |
| 28. 10. 17                | 施設における感染症対策～手洗い～         | 感染症委員会                     | 19名 |
| 28. 10. 20～<br>28. 11. 18 | トロミ調整食品の正しい使用について        | 介護技術向上委員会                  | 31名 |
| 28. 11. 29                | 介護事故で施設が負う本当のリスク         | あいおいニッセイ同和損<br>保株式会社 松田祐季氏 | 31名 |
| 29. 1. 19                 | 褥瘡予防とは？                  | 野村訪問看護ステーショ<br>ン三島可愛氏      | 20名 |
| 29. 2. 16                 | 看取りケア研修～どんぐり山のお見<br>送り方～ | 看取りケア検討委員会                 | 21名 |
| 29. 4. 4                  | 委員会成果発表会                 | 各委員会                       | 23名 |

※委員会成果発表会は平成 28 年度の研修として実施